

# 歴史的思考力の育成を図るアメリカ歴史教育改革の研究：ディシプリン・ギャップの生起要因と改革の可能性

川上, 具美

<https://doi.org/10.15017/1441008>

---

出版情報：九州大学, 2013, 博士（教育学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、アメリカの歴史教育が、大学の教員養成課程では存在論的歴史学に基づいているにも関わらず、中等学校の歴史教育では認識論的歴史学が主流であるというディシプリン上のギャップに注目し、その生起要因と構造を、連邦、州、学校の各レベルのカリキュラム、標準テスト、授業に関する詳細な分析を行うことによって解明したものである。本研究は異なるタイプの州を比較分析し、行政と実践レベルで立脚するディシプリンとそれぞれの間の関係性を踏まえることによって、存在論的歴史教育の実施までのプロセスに内在するディシプリン・ギャップの諸相を詳細に描き出す事に成功している。更に、実習生や新任教師らへのインタビュー、授業分析、質問紙調査を組み合わせ、教育実践への葛藤の中から保守派及び成績向上の要求に根ざす阻害要因を析出すると共に、協働的教育実習活動の分析から教師支援環境とシステム構築の方策を提示するに至っている。以上の成果は歴史教育改革の実践プロセスへの有益な知見をもたらすものとして、教育学研究として意義あるものと評価できる。よって、本論文は博士（教育学）の学位に値するものと認める。